

博士前期課程（修士） / 実践看護学領域 / 子どもと家族の看護学分野
 科目コード：230007

子どものフィジカル・アセスメント Pediatric Health Assessment And Promotion

担当教員 西村 真実子、金谷 雅代、久保 実、能登谷 晶子

実務経験

開講年次	1年次後期	単位数	2	授業形態	演習
------	-------	-----	---	------	----

必修・選択	選択	時間数	30
-------	----	-----	----

Keywords

学習目的・目標
 学習目的：子どもとその養育者に対するフィジカル・アセスメントについて、その概念、進め方、技法を習得する。
 学習目標：1) 子どもの年齢や発達状態に応じた適切なインタビュー、観察の方法を学ぶ。
 2) 発達検査の概念を理解し、発達検査の進め方、注意点について学ぶ。
 3) 診察手技を用いて必要な情報を系統的に得る方法を学ぶ。4) 1)～3) で得た情報を統合し、子どもの健康に関するリスクや正常か異常所見かの判断と、身体的な健康状態、発達状態、家族や養育環境の状況、心理社会的状態、栄養状態に関する見解を包括的にアセスメントする。
 5) 子どもとその養育者のプライバシーや自由意志を尊重する等、倫理的に配慮した適切な態度について理解する。
 6) アセスメント結果を子どもや家族に順序立てて正確にわかりやすく伝える方法と、子どもの健康促進に向けての対応について考える。

授業計画・内容

回	内容	授業方法	担当
1	オリエンテーション 子どもの発達検査概論	講義・討論	金谷
2	ブラゼルトン新生児行動評価	講義・討論	西村
3	子どもの言語発達をみる視点と言語発達上の問題への支援	講義・討論	能登谷、 西村
4	子どものフィジカル・アセスメントの進め方	演習・討論	金谷
5	子どものフィジカル・アセスメント基礎知識、手技 (皮膚・爪、頭頸部)	プレゼン	久保、金谷
6	” (眼、耳、胸部・呼吸器)	・討論	
7	” (心臓・血管、腹部)	・講義	
8	” (骨格・筋・運動機能)	・演習	
9	” (神経系、鼠径・生殖器)		
10	” (皮膚・爪、頭頸部)		
11	” (眼、耳、胸部・呼吸器)		
12	” (心臓・血管、腹部)		
13	” (骨格・筋・運動機能)		
14	” (神経系、鼠径・生殖器)		
15	事例演習：フィジカルアセスメント、インタビュー、結果を伝える、健康促進について話し合う		

教科書

参考図書等
 1 小野田千枝子監修、土井まつ子他：子どものフィジカル・アセスメント、金原出版、2001 2 T.B.Brazelton, J.Kevin Nugent, 穠山富太郎監訳：ブラゼルトン新生児行動評価原著第3版、医歯薬出版、1998 3 W.K. Frankenburg原著、上田礼子日本版著：日本版デンバー式発達スクリーニング検査 JDDSTとJPDQ、医歯薬出版、1998 など

評価指標
 1 出席状況・授業への参加状況 30% 2 プレゼンテーションおよびその資料 50% 3 レポート 20%

関連科目

教員から学生へのメッセージ